

**2025年度前期
能代市多文化共生事業
報告資料**

2025/10/17 更新



仁井ひな

#東南アジア
#インドネシア
#外国人材支援
#地域活性
#ワカモノ支援

幼少期から多様な文化に触れ、日本国内外での異文化交流に関心を持つ。これまで0カ国以上を訪れ、海外インターンや地域活性プロジェクトに従事。特にインドネシアでは、日本語学習者コミュニティの育成や、留学・就職フェアの運営を経験し、外国人材のキャリア支援に携わる。日本における外国人との共生をテーマに、地域に根ざした多文化共生事業を展開。秋田県能代市を拠点に、地域に暮らす日本人と外国人が交流し、お互いを理解し合う機会を創出するイベント「ワールドカフェ」などを企画・運営。地域課題の解決と異文化間の架け橋となることを目指し、外国人と地域住民が共に暮らしやすい環境づくりに取り組んでいる。また、若者が挑戦できる環境を整え、地域と外部のつながりを強化することにも力を注いでおり、「文化の違いを価値に変える」をコンセプトに、地方から新しい社会モデルを生み出すことを目標としている。

【経歴】

一般社団法人日本国際化推進協会(JAPI)にて、日本語学習者向けコミュニティ運営(2016-2020)
Enjin株式会社にて、外国人材のキャリア支援および人材紹介事業に従事(2018-2020)
株式会社Oriailにて、地域活性化事業の企画運営を担当(2020-現在)
2024年度「秋田若者チャレンジ応援事業」に採択され、多文化共生・地域活性のプロジェクトを開始

World Café

地域住民と外国人が対話を通じて関係性を築く“場の文化”が定着。
 毎回異なるテーマ設定により、国籍・職業・世代を超えた交流が自然に生まれる。
 外国人比率約4割という多様な構成で、地域側も異文化への心理的ハードルが低下。
 継続的な対話イベントとして「English Night」「日本語カフェ」などへ派生。

▼これまでの実績

No	開催日	イベント名	参加者数	主な国籍・構成	協力団体・関係者	会場
1	2/23(日)	World Café vol.1 (初回企画・※大雪中止)	-	-	ALT、地域住民	asobiba 4-6
2	3/29(土)	World Café vol.2	8名	🇺🇸 3、🇯🇵 5	ALT、地域住民	asobiba 4-6
3	4/19(土)	World Café vol.3 International Takoyaki Party	25名	🇺🇸 7、🇦🇺 1、🇫🇷 1	ALT、地域住民	夢工房咲く・咲く
4	5/10(土)	World Café vol.4 International Takoyaki Party vol.2	25名	🇨🇳 15、🇯🇵 10	山本地域繊維協同組合	檜山地域センター檜山崇徳館
5	8/31(日)	World Café vol.5 多国籍料理を楽しむ会 (インドネシア編)	63名	🇮🇩 17、🇺🇸 2、 🇯🇵 44	榎あきた創生マネジメント、 有限会社東栄、つなぎの里、株式会社親孝	ブナの森ふれあい伝承館
6	9/26(木)	World Café vol.6 Taco Party Night	30名	🇺🇸 10、🇲🇽 2、🇯🇵 18	ALT、地域住民	asobiba 4-6



English Night

英語をアウトプットできる場が少ないという地域の声から誕生。
 参加者の7割以上が日本人で、“学ぶ→話す→つながる”流れを実現。
 月2回開催を定着化し、初参加者からリピーターまで幅広い層が参加。
 ALTや地域在住外国人が自然に参加・運営に関わる形に発展。
 会話だけでなくゲームや季節イベント(ハロウィン等)を通じ、言語 ×文化の交流へ拡張。
 イベントを通じて、日本語カフェや多言語交流会など新しい派生活動も生まれつつある。

▼これまでの実績

No	開催日	イベント名	参加人数	国籍構成
1	5/29	English Night vol.1	13名	🇺🇸1 🇯🇵12
2	6/19	English Night vol.2	11名	🇺🇸2 🇯🇵9
3	7/17	English Night vol.3	16名	🇺🇸5 🇯🇵11
4	7/31	English Night vol.4	10名	🇺🇸4 🇵🇭1 🇯🇵5
5	9/4	English Night vol.5	8名	🇺🇸3 🇵🇭1 🇯🇵4
6	9/18	English Night vol.6	17名	🇺🇸5 🇯🇵12
7	10/2	English Night vol.7	10名	🇺🇸4 🇯🇵6
8	10/16	English Night vol.8	19名	🇺🇸6 🇵🇭1 🇯🇵6



多文化教育(学校向け)

初年度から探究授業の設計段階から関わり、年間を通じて伴走。
生徒が地域や多文化に主体的に関心を持つきっかけを創出。
能代東中学校からは 来年度も継続依頼を受けており、地域連携授業として定着。
松陽高校からも新たに連携の打診 があり、2026年度に向けた授業協働を協議中。



区分	日程	実施先	対象	内容	参加人数・構成	主な成果・気づき
 中学校 (探究の導入～実践)	4/18	能代東中学校	1年生	自己紹介・地域活動が将来にどうつながるかを考える授業	23名	地域との関わり方を自分事として考えるきっかけに。初回から積極的な発言が見られた。
	5/7	能代東中学校	1年生	地域の魅力をどう見つけ、どう発信するかワークショップ	23名	探究型学習の導入。地域をポジティブに捉える視点が生まれた。
	9/5	能代東中学校	1年生	地域の魅力を具体的に表現してみるワークショップ	23名	グループ内での協働・意見整理が進み、発信準備が整った。
	10/10	能代東中学校	1年生	実際に地域の魅力を伝える練習	23名	プレゼン練習を通じて、話す力・伝える力の向上が見られた。
	11/2 (予定)	能代東中学校	1年生+地域住民	鶴形そば祭りにて地域の人に魅力を伝えるツアーを実施	約50名(日本人43/インドネシア5/アメリカ2)	学びの集大成。地域住民や外国人との交流を通じて「伝わる喜び」を体感。
 高校 (探究の拡張)	6/19	能代高校	1年生	多文化共生をテーマにした探究授業	約40名	“違い”を理解する学びを通じ、自己の進路観に新たな視点を得た。

■ その他

地域の外国人と任意団体を創設し、県の補助金を活用しながら、他団体主催の地域のイベント等に出展。
地域の外国人が積極的に地域活動に参画できる機会を提供。



日程	主催	内容	参加者数	主な成果
5/20	のしろ子どもまつり実行委員会	インドネシアの文化共有、料理提供	200人前分	地域イベントで能代在住外国人が初めて「提供者」として参加。食を通じて交流が生まれ、地域における外国人の認知と信頼が向上した。
7/12	ときめ木マルシェ実行委員会	アメリカンクッキーデコレーションWS	20人	ワークショップを媒介に、外国人が地域に自然に溶け込める場を創出。参加者同士が対話しながら、国籍を越えた共感の輪が広がった。
9/21	ときめ木マルシェ実行委員会	シュリンクアートWS	20人	私が不在のなかでも、外国人メンバーのみで準備・運営を完遂。自立的に地域イベントを担う体制が形成され、次のステップへの成長が見られた。
10/5	秋田県国際交流協会	能代在住のグローバルメンバーの紹介 (アメリカ、インドネシア)	60人	登壇形式で、地域住民が外国人当事者の声に直接触れる機会を提供。共生への理解と受け入れ意識の向上が見られた。
10/19	ときめ木マルシェ実行委員会	ハロウィンクラフトバック作りWS	15人	徐々にイベントの認知が広がり、楽しみにしてくれる地域住民も増加。外国人と市民が協働して企画・運営する「共創型イベント」として定着し始めている。

◆ 半年間の成果サマリー

- イベント開催 17回／延べ参加者 約550名(うち外国人 約200名)
- 教育・企業・地域の3軸で連携を実現。
- 外国人主体の運営が実現し、地域社会での共生の実践モデルを形成。
- 任意団体 世界の友だちつくろうプロジェクト @能代 設立により、持続的な活動基盤を確立。

今後の方向性

1. 委託・受託事業の拡充

COCOROとの連携を軸に、日本語クラス・メディア運営を安定収益化。

2. 企業・教育領域でのモデル化

異文化理解研修・探究授業の体系化を通じ、地域共生のノウハウを整理。

3. 多文化共生センター(仮)構想の具現化

市・企業・教育機関と連携し、拠点運営の委託体制を検討。

4. 地域発の共生モデルを県・全国へ展開

能代を基点に、他自治体でも再現可能な形でのモデル化を目指す。(豊田市、茨城県エリア)